

第1回 淀江IC周辺地活用検討委員会 議事録

1. 日時：令和4年12月19日 14:00～16:00

2. 場所：大山町役場大山支所 会議室1

事務局（進行役）	<p>1. 開会</p> <p>お忙しい所お集まりいただきましてありがとうございます。向かって右手の方がちょっと席が寂しいですが、A委員B委員とC委員はちょっと都合により欠席というご連絡を頂いております。ちょっとD委員、まだ何も連絡がありませんが、定刻になりましたので、ただいまより第1回淀江IC周辺用地活用検討委員会を開催させていただきます。私、本日の進行役を務めます。よろしくお願い致します。</p> <p>座って進めさせていただきます。</p>
事務局（進行役） 副町長	<p>2. 開会挨拶</p> <p>最初開会の挨拶ということで、本来ならば町長がご挨拶を申し上げるところですが、所用により、副町長の吉尾副町長が開会のご挨拶を申し上げます。</p> <p>それでは、ご挨拶を町長に代わりましてさせていただきます。今日はあいにくの天気と言いますか、大山町の12月のそれらしい天気です。無事にスキー場の方も雪の心配なくオープンできるような天気になりましたが、足元の悪い中お運びいただきましてありがとうございます。大山町色々行政課題があるわけですが、その中で観光戦略どうしていくか、それから、今年度はアウトドアライフ構想というようなものを打ち立てて、じゃあ具体的にどういう取り組みをしていったらいいか、というような取り組みが今始まっているところでございます。大山町にある資源、要は大山町に関わる色々なチャンスというものを最大限に活かして、取り組みが進めていけたらいいなというようなことを大山町では色々考えておるわけですが、この中で、すでに検討がスタートしておりますのが、海の観光拠点の検討でございます。こちら、淀江インターチェンジの方につきましては、後ほど詳しく説明がございましたけれども、大山町にあるですね、非常に将来性ももしかしたらすごくあるのではないかと、思っております大山町にある非常に有望な資源であり、またそこにチャンスが潜んでいるのではないかと、いう風に皆さんの目には、淀江インターチェンジ周辺、写っているのではないかなという風に思っております。そういうような資源、チャンスを大山町で活かしていく、その、道、色々あるんじゃないかということで、この会を設立させていただきまして、皆様からの様々なアイデアでありますとか、こういうことはどうだろうかという行政サイドでなかなか気が付かないような課題についても、限られた会の開催回数にはなりますけれども、色々ご指摘いただいたり、情報交換させていただける機会になればという風に考えております。限られた時間ではございますが、皆様方の忌憚のない意見を頂戴いたしまして、次の検討の段階に進んでいけるような成果を出し</p>

	ていきたいなというように思っております。よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	<p>3. 委員ご紹介</p> <p>続きまして、ご出席いただきました委員の皆様を座席順にご紹介いたします。お名前だけお読み上げさせていただきます。</p> <p>鳥取県西部総合事務所米子県土整備局計画調査課 額課長様。</p>
委員	額です。よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	同じく鳥取県西部総合事務所県民福祉局西部観光商工課 木村課長様。
委員	木村でございます。どうぞよろしくお願い致します。
事務局（進行役）	大山町建設業協会会長 松本様。
委員	松本です。
事務局（進行役）	大山町商工会 谷田事務長様。
委員	よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	大山観光局 白石事務局長様。
委員	よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	大山恵みの里公社 大黒事務局長様。
委員	よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	鳥取西部農業協同組合大山口支所 瀬尾支所長様。
委員	瀬尾です。よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	米子市淀江支所淀江支所長兼淀江振興本部長 中久喜本部長様。
委員	中久喜でございます。よろしくお願い致します。
事務局（進行役）	大山町副町長吉尾でございます。
	大山町企画課 源光に代わりまして本日金田課長補佐が。
委員	よろしくお願い致します。

事務局（進行役）	大山町観光課 西尾課長。
委員	西尾です。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局（進行役）	地域自主組織ふれあいの郷かあら山 山根会長様。
委員	山根です。よろしくお願いいたします。
事務局（進行役）	公募委員と致しまして、貝本様。
委員	貝本です。よろしくお願いいたします。
事務局（進行役）	<p>その他あと4名いらっしゃいますが、本日もご欠席ということで対応させていただきます。</p> <p>続きまして、本日のスケジュールと配布資料の確認をさせていただきます。本日のスケジュールは、ご覧の会議次第の通りであります。続きまして配布資料ですが、本日配布しました資料-1、委員会設置要綱と事前に送付させていただきました、第1回淀江周辺用地活用検討委員会から、大山隠岐国立公園ステップアッププログラムの概要までが資料となっております。</p>
事務局（進行役）	<p>4. 委員会設置要綱の承認</p> <p>続きまして、委員会設置要綱についてご説明させていただきます。資料の方付けておりますが、この検討委員会設置要綱を作成させていただいております。検討委員の人数ですが、20人以内で組織しております。検討委員会の任期につきましては、1年とさせていただいておりますが、年度内にできれば検討委員会を終了したいとは考えています。</p> <p>中身につきましては、以上ようになります。よろしいでしょうか。</p>
事務局（進行役）	<p>5. 会長選出</p> <p>続きまして、会長の選任に入ります。先ほど説明いたしました設置要綱において、委員の互選となっておりますが、意見はございますでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、事務局案として、本町の副町長の吉尾をご提案しますがよろしいでしょうか。</p> <p>（拍手）</p> <p>ありがとうございました。では会長は吉尾副町長に決定いたしました。会長席へご移動をお願いいたします。</p>
会長	それではご指名でございまして、会議の方をさせていただきます。
会長	<p>6. 議事</p> <p>では早速でありますけれども、本日の議事次第の方につきまして事務局から説明をお願いします。</p>

<p>事務局（進行役）</p>	<p>はい。それでは本日の議事内容について説明をいたします。 ご覧の4項目について、説明、意見交換を行っていきます。 本日ちょっと紹介が遅れましたが事務局として私の他にですね、事務局の補佐といたしまして協力を頂いておりますので、ご紹介させていただきます。 それでは検討位置につきまして、淀江インターチェンジの周辺です。検討位置は、山陰道淀江インターチェンジに隣接した大山町安原地内となっております。この場所は、大山町と米子市淀江町の行政界となっております、一部区域は米子市の住所となっております。 続きまして、本委員会の目的についてご説明させていただきます。大山町が掲げます「観光戦略」を踏まえて、利用がなかなか低未利用地となっている淀江インターチェンジの跡地ですが、その活用方法につきまして、皆様のご意見を伺って、実行可能な活用の方向性を取りまとめることが、本委員会の目的にしております。 検討委員会のスケジュールですが、本委員会は、活用の方向性を取りまとめるために、計3回を予定しております。本年度3月末を目途に活用の方向性をまとめていただきたいと思いますと考えております。 続きまして、淀江IC周辺の状況につきまして、簡単ではございますが、説明をさせていただきます。こちらからはウエスコ様の方から説明をいただきます。</p>
<p>事務局補助</p>	<p>よろしくお願いたします。 そうしますと、皆様に事前にお配りさせていただいた資料の概要ということでご説明をさせていただきます。資料の概要でございますけれども、大きく、大山町の概要、淀江インター周辺の概要、上位計画について、となっております。 まず、大山町の概要でございます。平成17年度に合併をいたしまして、今現在17年が経過しております。南に大山、大山より北に向けて緩やかな傾斜を描きながら、日本海へ広がる自然資源に恵まれた地形が形成されている町でございます。人口でございます。人口につきましては、少子高齢化の方が進んでおりました、生産人口の減少、高齢者人口の横ばいが続くことで、高齢化が進行している状況でございます。大山町の土地利用でございます。土地利用につきましては、林野が約6割、耕地が2割、残りの2割が住居及び事業地という構成となっております。続きまして、町の産業でございます。主な産業は農業・畜産・漁業などの1次産業と、3次産業の観光、ということでございます。続きまして、大山隠岐国立公園でございます。国立公園につきましては、鳥取県・島根県・岡山県の3県にまたがった国立公園となっております。大きく4つの地域に区分されておりました、大山町は大山蒜山地域に属しております。今着色した図面をモニターの方に出しておりますが、この着色したエリアが国立公園の範囲ということになります。続きまして、大山観光の特徴でござ</p>

いますけども、主な交通拠点でございますどのインターからでも、車で20分あれば博労座まで到着できるという交通の便がいい地形となっております。

ここからは、淀江インター周辺の概要についてご説明をいたします。平成18年の米子東インターから淀江大山インター間が無料化になりました。その後、新直轄方式によりまして、鳥取方面への延伸が進みまして、料金所が廃止になりました。延伸に伴いましてインターチェンジの方式も変更になりまして、今の状況となっております。現在の敷地は、国交省さんと鳥取県さんが所有し管理をされているところでございます。冒頭にもお話があった通り、対象地につきましては、一部が米子市の住所となっております。面積の割合は、96%と4%という格好になります。米子市さんの方は、今黄色で示している範囲が住所という格好となっております。続きまして、最近撮影させていただいた上空の写真でございます。現在は、建設残土の仮置きとして活用をされております。隣接いたしまして、国交省の除雪基地がございます。晴れた日には、大山の頂を望むことができます。これからちょっと現地の写真をご説明させて、見ていただこうと思います。本来ならば、現地に行って視察ということになりますけども、時間の関係、天候の関係でございますので、この回におきましてはざっと360°のカメラで撮影させていただいたものを見ていただくことで、現地を確認させていただければと思います。今写っておりますのは、現在の除雪基地の入口となっております。これが、既存のインターの行道となっております。アングルを変えて見ていただきます。建設残土の方の整地が進んでおりまして、今見ていただいておりますように、良質な土砂の方が今置かれているというところでございます。現在の高さからは、日本海もやや望めますし、大山の頂も望むことができます。では次のまた資料に戻らせていただきます。続きまして、今ご覧のページにいたしましては、周辺の道路の交通量を示したものでございます。調査は7年前、平成27年のデータとなって、結構ちょっと古いんですが、ご了承ください。国道9号が約15,000台、山陰道は17,000台、接続いたします淀江インター線は4,500台でございました。この台数は、1日当たりの上下の合計の値となっております。次の資料でございます。次の資料につきましては、計画地となります淀江インターから1km、2km、3km、4、5kmという格好で、圏内を円で示した図でございます。1キロ圏内にはJRの駅、2キロ圏内には国内有数の遺跡群が集中しております。3キロ先には、大山インターがございます。続きまして、資料が小さくて申し訳ございません。これは、大山町の観光施設をプロットしたものでございます。南部につきましては大山寺周辺に施設が集中しております。北部の海沿いにつきましては、山陰道のインター周辺に施設が分散していることがプロットから判ります。次に、防災ハザードの情報となります。大山町エリアにつきましては、対象となります周辺にはハザード情報はございません。米子市エリアにつきましても、洪水による浸水想定エリアに近いものの、特筆するようなハザード情報はございません。

次に、上位計画についてでございます。大山町では平成28年に第2次総合計

画でございます、「未来づくり10年プラン」が策定されています。基本理念は、「楽しさ自給率の高いまちへ」でございます。「観光」の観点では、産業分野の「魅力的な仕事を生み出していくための取り組み」が該当いたします。見にくいですが、その対象のところが赤で囲ってあります。観光の施策をピックアップいたしますと、自然資源と多様な人とのつながりで、観光や商業を盛り上げることを挙げられていらっしゃいます。体験・交流・滞在型の観光が生まれやすい環境づくりとして、「大山ツーリズム」の整備を目指しています。ツーリズムって言いますのは、多様な目的に対応した観光、という意味合いでございます。総合計画に基づいた具体的な取り組みの概要として、その、以下の資料を添付させていただいております。次、第2期地方創生総合戦略でございます。総合計画、総合戦略に基づきまして、様々な構想や計画、事業が推進されます。観光戦略でございます。こちらにつきましては、山の拠点だけではなくて、海のエリアの観光資源も活用した、全町一体となって、全町が周遊できる交流軸や拠点づくりを目指しております。続きまして、アウトドアライフ構想でございます。こちらにつきましては、行政のあらゆる分野でアウトドアを活用しましょうという観点で取り上げた、取り組みをしようというものでございます。体験・滞在型観光に向けて、具体的に拠点整備を構想しております。アウトドアライフ構想の今図面を見ていただいております。こちらについてでございますけれども、淀江インター周辺につきましては、海の拠点、アウトドアの拠点、サイクリストの中継基地、という位置づけをされております。続きまして、自転車推進計画でございます。今現在、国の方で「自転車活用推進法」が施行されました。で、県の方も「アクションプログラム」を作っております。それを背景としたものでございます。県では他にポストコロナの観光の柱の1つといたしまして、密を避けて、豊かな自然を楽しむことができる、「サイクルツーリズム」を推進していらっしゃいます。

以上で、配布させていただきました基礎資料情報の説明を終わらせていただきます。

会長

説明ありがとうございました。あの、この委員会は基本的に、年度いっぱい、ということであります。その点からいきますとですね、今日の会議でできるだけ皆さんから、アイデアなり、これどうなってるのか、という課題の抽出をしていただきたいと思っております。今日は、今後のスケジュールの話もありますけれども、会議終了時まで皆さんのご意見を出していただくということに時間を使っていきたいなという風に考えております。それでおそらく、ご意見の中で出てくるのではないかなと思いますので、若干先回りしてお話ししておきますと、この検討委員会って一体どっからどこまでの話をしていいの、ということがあるかと思っております。一度時点にどのくらいの予算かけてどんなものまで計画していいの、という話があるかと思っております。それから御来屋の漁港の海の観光拠点の話とは何か連携するのかわからないのかという、お話も出てくるかと思っておりますし、海の観光拠点の議論の中でもいくらはお金を投入するか示しても

らわなければどれくらいと言っていいか分からないというようなご指摘もありました。現時点では、そのところはいくらかとも大山町の方としても言えませんが、使える資源はそれは町の予算だけではなく国の予算、補助金もあるし、全く違うところからということもあり得ると思います。それからですね、淀江ICの議論は御来屋の漁港の話と大きく違うのは、実はもうすでに説明ありましたが、この議論しようとしている土地が、大山町の所有する土地でもなんでもありませんで、県有地、というようなところでありますので、そのところじゃあ次のステップどうなるのかということの課題としてはありますけども、だからといって、何もできないということを考える必要はなくて、そうではあるけども、こういうことができるのではないかというような形の話をしていただければいいかなという風に考えております。それから大山町で議論するので大山町ばかりにおいた大山町縛りでもの考えないといけないのかというところもあるかと思えます。現実には米子市さんに極めて近いところであって、そういうような人の流れがある中での議論であります。ですから、大山町縛りである必要はないという風に言いたいところですが、大山町としては大山町の西のエリアをいかに振興していくかということによって考えるというのが前提になっておりますので、若干、米子市よりは東の方を向いたところでお考えいただければありがたいなと思えますけれども、そういう風に考えることによってアイデアが制限されるようなことがあってもいけませんので、なんか副町長そんなこと言ってたなということぐらいに留めていただいて、ご自由に色々お話ししていただければいいと思えますし、それから色々ご指摘いただいたことにつきましても、今日この場でお答えできることは、非常に限られているかと思えますが、それはそれで宿題として承って次回の会議等でまたキャッチボールさせていただければいいかなという風に思っておりますので、そういうおつもりで色々ご意見寄せていただければと思います。それでそういった意味では今日公募でご出席いただく方が若干ご手隙なのが残念なのでありますけども、またお話を聞かせていただくような機会を何とか確保したいなという風に思っています。

という前置きをいたしました上で、各委員からご質問なりお考えなり、どういう形でも結構でございますので、自己紹介を含めましてお話を、席順で恐縮ですけども、聞かせていただければと思います。それで、席順でということこちらからなのこちらからなのといったことになりますけども、E委員からトップバッターでお願いします。

委員

はい。こんにちは。意見、というかちょっとどうしても掴めないと言いますか、まずなんか、これは町がやる、町や県がやる、いわゆる何か町営の何か施設を作るアイデアを出すのか、それともいやそんなの関係ないと、本当にもう民間がコンソーシアム作ってあの土地使って何かやるのかとか、ちょっとその辺がなんかこう、フレームがちょっと分からなすぎて、どの立場でアイデアを出せばいいのかなっていうのがちょっと今分からないといえますか。道の駅み

委員	<p>たいな、いわゆる行政の予算によって運営する場所なのか、企業誘致とか立ててそういう商業地として使っていくのもありなのかとか、その辺のちょっとこの、もう少しちょっと絞込んだところで議論していたほうがいいのかなどという風にちょっと思っております。またアイデアとかはまたその後出せたらなと思います。以上です。</p> <p>今回のこの件に当たりまして、先に資料をいただいたのを読んでみたんですけど、ここの場所の一番の利点っていうのは、交通のアクセスの良さなんだろうなっていう風に思ったわけです。それでいきましたら、まあ最も米子市に近いので、米子市やそれから大山町、まあ先ほど会長の方からも言われましたけども大山町が単独でどうこうするような土地でもないかなという思いがするわけです。それでありましたら、全くゼロからこういった、この土地をどういう風に活用するかなって思った時には、一番最初に思いましたのは、いわゆるここは商業施設としてどういう活用できるのかなっていう思いがしたわけです。だけどこれの、と言いつつ送られてきた資料を見ると、観光中心の施設としてやらなくちゃいけない、あるいは大山町は観光の施設としてこれを活用したがつているのかなという思いがしたんですけど。その辺、どこの、どの時点で、いわゆる先ほど言われましたように道の駅として利用してもいいのか、あるいは、何て言いますかね、青果市場とかそういった海の家産物あるいは農業の産物等を売買するような施設として使ってもいいのか、そういったところがもうちょっときちんと提示された上で話するのがいいかなと。あと観光としてするならば、色んな考え方あるかと思いますが、やはり当面あまりお金のかからない、何て言いますかね、運動公園的なものでやっておけば、あとはどうにかなるかなという思いはしますけど、言ってみればMTBパークとかカヌーの艇庫とかね。そう言ったようなものが作れば、いいのかなっていう思いがします。私の方からは以上です。</p>
委員	<p>よろしくお願ひします。まずあの、事前の資料等で、およその検討とか確認をさせていただきたいんですけど、このいわゆる淀江ICの未利用地につきましては、いわゆる福祉施設であるとか、例えば町営住宅を建てるのではなくて、主に観光に振興に資するものを考えようという認識でよろしいんですよね。基本的な考え方としましては。ちょっと事前資料とか、そう書いてございましたし、今日の出席の方メンバー見るとそういうことであるんで、そういうことで考えていったらいいのかなと思ひまして。で、先ほどE委員とかF委員とかもおっしゃられたんですけど、そうすると道の駅であるとか、農産物の直売所であるとか、はたまたあとは採出でるかどうかわかりませんが温泉等々の施設とかサイクリングの拠点とか色々考えられると思うんですけど、1つ危惧しますのが、山陰道に面していて非常にアクセスがいい所で、逆に例えば観光客に関しての施設を建てたときに、例えば松江から来られる方あるいは鳥取から来られる方が、この何ができるかわからないですけども、この施設ができ</p>

委員	<p>て、満足して鳥取から来た方が松江城や出雲大社行かれる、あるいは逆に松江から来られる方が今度は鳥取砂丘に行ってしまう、というちょっと完結するのはちょっとよろしくないんじゃないかなと。こちらの施設を拠点にさせていただいて、例えば大山寺に行っていただくとか、ちょっと手前味噌ですけども淀江町ですけど妻木晩田とか、上淀廃寺跡あるいは境港にでも行っていただくような、そういうような拠点となるような施設をちょっとなかなか難しいですけどそういうこと考えていけたらいいんじゃないかなと、今のところは思っています。以上でございます。</p> <p>失礼します。私も先ほどの意見が出た中で本当になびいてしまうようなところがたくさんございます。で、私もここに来る前にこのお話いただいた時にですね、やはりちょっとイメージとして浮かんだところっていうのはやっぱり単純に道の駅のようなところかなというところがもう真っ先に浮かびました。そして道の駅を考えたら、トイレというところになるんですけども、今のこの本当に淀江インターの場所にトイレができたとしたらですね、とてもいい場所なんですよね。本当に近いところで、ストップできると。本当に山陰道に面してトイレって結構なくてですね。恵みの里さんも結構降りてから道を結構走ってからトイレに伸びると、その先はもう琴の浦、で米子方面についてはもうないですよ。っていうことで本当に拠点としては場所は抜群にいい場所だなと。ただ何をすべきか、どうお客さんを集客すべきかっていうのは、私ちょっと別のところでですね、今言ったようにその、ほんとにここはトイレだけで終わってしまうようなところにならないようにですね、F委員も言われましたけども公園だとか、本当に最初はそういうところできたらいいというのは漠然と、私の方はちょっと考えました。それから、農協に携わっている以上やっぱり農産物のアピール等々できたら、やっぱり地元農産物とってもいいものがたくさんありますから、そういう部分でですね、この間も大山ブロッコリーね、テレビでも結構やっぱり話題になりましたので、その辺の地元特産物をグッと売っていけるような、地元のアピールができるような場所にできたらと思って参りました。すみません、以上でございます。</p>
委員	<p>今資料を配っていただいておりますが、宿題が出されたので宿題をしてきたまででございます。で、今度第2の道の駅を作りに来たわけではございませんので、そのあたり前置きしておきます。で、今回のテーマと、テーマというところですごく悩みました。資料が来た時に、要は大山の観光戦略といったところ、それを踏まえてと書いてありましたので、それをテーマにして、今回こういうものを作ってまいりました。で、観光戦略の中では地域の課題といったところ、これを1つの、何て言うの、課題ということで挙げております。今日も地域自主組織の方が来ておられますが、やはり大山町の課題としては、空き家、若者定住、といったところ。それが一番大きな課題ではないかということで、これをテーマにしてみました。それから未来の大山町というところ、現在</p>

の脱炭素社会というところで、自転車等のような二酸化炭素を出さない取り組みもやっておられます。で、次に、新エネルギーというのがありますけども、これはまた後で説明をさせていただきます。まずこの、空き家、若者定住といったところで、じゃあいったいこれをここのインターの用地を活用して何ができるかというところで考えた時に、空き家っていうのはそこに人が住めば賑わってくるかもしれませんが。ただ、それよりも何かお店とか、そういった人が集まってくるような施設が、空き家の活用がいいんじゃないかと、いうのがこの下の方に書いてあります。で、若者定住ということで、新たな起業人材と、つまり働く場所というよりも自らが何か起業して働くということ。そこでまた雇用等がなってくるんじゃないかということです。その横に環境整備ということで、家が建っております。それから下に行くと脱炭素社会とSDGsの取り組みっていうのがあります。で、その1つに挙げられるのが電気自動車。現在も急速充電器、いくらかはありますが、もっとたくさん増やす。それから今度は新エネルギーと書いてます。多分これから水素エネルギーを使った自動車っていうのが来るであろうと、勝手に予測をしました。で、これが未来の先取りということになります。その裏を見ていただくとイメージ図、つまり、チャレンジショップ、若者が定住するための起業するための修業の場ということで2年から3年ここで修行して儲かるな、ということであれば、空き家に入ってそこでチームを組み立てる。また、米子市も空き商店街というかシャッターが閉まってるお店がたくさんあります。そのあたりにも入れるんじゃないかなという風に思います。それから充電スタンド、当然太陽光、というところでの電気を作って充電をするということ。で、この充電の空き時間にチャレンジショップにて物を買ったり食べたりもできます。また、観光情報でもあればいいかなと思いますし、ITなんかの企業が入っても全然問題ないかと思います。それから新エネルギーというところで、水素。水素ステーションということを挙げてます。これは非常にハードルは高いかなと思います。現在水素ステーションは山陽側にいくらかあるわけで、山陰の方にはありません。水素自動車も走ってないような状況です。水素自動車がないから水素ステーションがないのか、水素ステーションがないから水素自動車がないのかっていうのはどっちか分かりませんが、そういったあたり、水素ステーションを作ればどうかな、というところ。で、それぞれの役割ということで下に書いてございます。考え方なんですけども、ベストな状況ということであればチャレンジショップなり急速充電スタンドがあればいいんじゃないかなと思うんですが、ただ水素ステーションがあればベストではなくてディファレンスということで他にはないですよ、ここにしかないというところで、このインターの活用というところ、これを子どもたちがうちの町はこんなのがあったよという自慢にもなりますし、また若者も帰ってくる可能性もあります。そういったのをイメージしながら作りましたので、これは私の勝手な活用方法ですので、報告をさせていただいて、席に帰りたくと思います。

委員

そうですね、皆さん結構前向きなご意見と言いますか、可能性のあるご意見を寄せられている中で、ちょっと私の意見がちょっともしかしたら後ろ向きに捉えられてしまうかなというところもあるんですが、まずこのIC、淀江ICの周辺用地活用というのが、どれくらいの方にニーズがあるのかというのが自分的にはまだちょっと不鮮明と言いますか、観光戦略の中でももしかしたら今まで間に位置づけとしてあって、まだ何もできていないからということであるならば、なかなかちょっと現実これからのことを考えて、費用的な部分でも長い間掛けて償却するようなものになるかと思えますし、こう、あくまでも観光として考えるというのはいささか少し無理があるのかなというところが正直な感想です。たまたま私の自宅がここから車で5分ぐらいというところで、普段から通勤で毎日使っているインターチェンジなんですけど、近くには観光と言えるようなものが米子市さんのメイちゃん牧場さんとか、ヤギがいるようなところですね、あと淀江のインターチェンジそばのコンビニであるとか、なかなかちょっと周辺に結びつくような施設あるいは魅力があるようなところというのは若干少ないのかなと気もしますし、あとはまあこれまでもご意見ありましたけれども、やっぱりちょっと駐車場であるとかトイレ、というようなものをわざわざこのために作るのかというのが、ちょっとなかなか利用客が分散してしまうんじゃないのかなという気も少なからずしております。で、まだ少し前向きな点と言いますのは、鉄道がすぐ近く走っておりまして、山陰本線、すぐ目の前にありますので、もしそういう観光という部分で考えるのであれば、鉄道あるいは風景を楽しまれる方向への何かスポット的なものと、先程G委員もおっしゃいましたEV、充電スタンドであるとか、まあ現実生活で必要なものとセットにするのであれば何か可能性が見えるのかなという風には感じているところです。あとはその大山町の観光戦略の上位計画とどう結びついていくのか、これまでもたくさん観光戦略であるとか、色々な構想がある中で、これだけが少し距離があると言いますか、立ち位置もあまりよろしくもないと思えますので、どのあたりにこれが食い込んでくるのか、もしくは、食い込まずとも連携しているような形に見えるのかというのは、精査する必要があるのかなという風には感じたところです。以上です。

委員

やっぱり経済効果を生む取り組み、活用が望ましいという風に思うんですけども、それが企業誘致なのか、商業施設であるのか、また観光施設になるのか、そこのあたりは何て言うんですかね、今まで皆さんのお話を聞いてて、ちょっとこう頭の整理がついていないのが正直なところです。ただまあ、位置的にインター、アクセスを活かした活用が望ましいだろうなといったところは最もなところなんですけども、ちょっとG委員の資料を見させてもらって面白いなと思ったのが、そのチャレンジショップなんですけども、チャレンジショップ、まあ起業創業を考える人がチャレンジショップを行って、それを空き家活用に繋げていく、っていったところ面白い考え方だなって思いますし、今まで大山の観光だったんですけども、今海の拠点といったところで色々委員会等、

<p>委員</p>	<p>色々な議論だったり提案をされている中で、何かこう、山と海を繋ぐ役割的なことになれば、面白いなという風に思います。我が家も本当にH委員じゃないんですけども近くにありまして、よく通るところなんですけども、本当に全く度外視して、アクセスがいい所ですから、新興住宅の活用っていったところも若い方が住まれて、大山口周辺かなり人口が増えてきて、そのためにってことではないんですが、大山口に新たに創業される方であるとか、新しい店がやっぱり増えてきております。なので、とにかく人に住んでもらう拠点として考えていくのも面白いんじゃないかなと思います。以上です。</p> <p>すいません。特に案は持ってきておりませんが、皆さんの話を聞いてて、その交通の便がいいということで、どういうものがいいかっていうのは特に頭の中は整理できてないんですけど、ただ大山町の、そういう仕事場だったり観光だったり色々な産物だったり、特徴あるところが宣伝ができるような何かそういう施設っていうか、道の駅とかでもいいと思いますし、そこに留まるだけじゃなくて、そこで留まりながら町内、大山町内の山に行くのもよし海に行くのもよし、そういう新しい店とかもちょこちょこできてるので、そういうところに足を運んでいただけるような、宣伝できる場というか、そういうのがいいのかなという、ちょっとまだ浅はかですけどそういう感じは非常に思います。ちょっと旧中山なものであんまり、あそこには行くんですけど、そんなによくは分かっていないんで、あまりたいそうなことは言えないですけども、そういう大山町が今後発展していけるような、何かができれば非常にいいのかなという風に思ってます。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>私の方からはですね、西部の観光を進める上でどんな施設になったらいいのかなという立場で申させていただきたいなと思いますけれども、今コロナの流行りで非常に観光業が痛んでおりますけれども、来年からはおそらくインバウンドも回復してくるだろうという風に予想されております。この大山の地域もですね、数年前にあった大山開山 1300 年祭なりですね、国立公園の満喫プロジェクト等々色々なそのプロジェクトがあってですね、当時は、コロナ前の当時はですね、非常にインバウンドが盛んになった時期ではないかなと思います。ただコロナを経てですね、今後その、アフターコロナ、ウィズコロナと言われる時代の観光はどうなっていくのかなと思った時にですね、間違いなくそのコロナ前とは違ってですね、これからはその通過点であった地方の観光地っていうものですね、インバウンドの拠点になっていくのではないかなと思ってます。コロナ前にその、東京なり大阪なりですね京都みたいな有名観光地で日本のインバウンドの8割相当を稼いでいたと、というような時代からですね、もっとその、地方の体験とかアドベンチャーみたいなものを求めて、外国人の観光客は日本に来るのではないかなという風に予想もされているところでございまして、先ほど事務局の方からもその、サイクリングとかですね、アウトドアとかアドベンチャーとかそういったツーリズムを進めているといったところでご</p>

委員

ざいまして、鳥取県としても、まさに今その県として、この跡地のすぐ近くに
ですね、うみなみロードですね、国道9号線を基軸として東西を150キロほど
繋いだですね、サイクリングロードっていうものを整備しました。整備後の今
ではですね、国の方に、それは国交省のお墨付きなんですけれども、いわゆる
ナショナルサイクルルートを目指して今活動しているというところがございます
して、そういったこの市の特性を考えると、サイクリング、サイクリングに特
化しなくてもいいんですけども、サイクリングを基軸とした、そういった拠点
にしていただく。そういった施設を拠点にした滞在型の観光をこの地から進め
ていただければですね、非常に県の政策とも合致して心強いなど、思う
次第でございます。具体的には今話にも出ましたけども道の駅がですね、今非
常に全国的に注目をされておりまして、これまで通過点でしかなかった道路利
用者のためだけの施設であったものが、今その地方創生の拠点、観光を促進す
る拠点として非常に全国的にも注目をされておりますので、道の駅で、フルに
その補助金なり交付金なりを活用しながらですね、建てるものっていうのはサ
イクリングの拠点とした、滞在型の観光のベースとなるような施設があったら
よいのかな、という風に意見を述べさせていただきたいと思っております。以上で
ございます。

あの底地が県有地だからと言って、必ずしもその公的なものでないといけない
ということではなくてですね、例えば民間開発ということであれば、まあ売却つ
ていう手法もありますし、あまりそういうところに囚われないで、最初は幅広
に色々アイデアを出していただきたくのがいいのかなという風に思っておりま
す。で、話の中にですね、道の駅がどうかっていうご意見がですね、色々あつ
たと思います。で、道の駅、確かにこの場所は、山陰道に隣接しておりまして
非常に見晴らしもいいですから、そういう拠点としては非常に絶好の場所かな
という風には思いますけども、道の駅、今全国で星の数ほどあります。で、県
内でも20箇所ぐらいありまして、中にはもう古くなってあまりパツとしない
ような道の駅もあると思います。で、大山町さんの中にはですね、もう1箇所
恵みの里、名和インターのところでありまして、で、ここと非常に近いもの
ですから、多分同じものを作っても、お客さんが分散してしまうので、あまりい
いことにはならないのかなと。新しい道の駅を作るのであれば、やはり独自性
を出していただいて、両方の道の駅に寄っていただくような、アイデアを出し
ていただくと、非常にいいのかなと思います。大山町さんの、説明にあつたよ
うにですね、アウトドアライフ構想というのを今一生懸命取り組まれているよ
うですので、こういったアウトドア、サイクリング、そういったものの拠点と
いうことであれば、独自性も出てくると思いますし。あとそうですね、道の駅
で言えば今防災道の駅っていうのがありまして、で、これは平成30年の7月
豪雨で、広島とか岡山とか、そういったところでかなり大きな被害が出てたん
ですけども、道の駅がですね、災害の復旧活動の拠点としてですね、非常に有
効に活用されたということがありまして。で、今国土交通省は全国的に防災道

	<p>の駅を作るという取り組みをですね、盛んに行っております。で、県内では今北条公園の道の駅、北栄町ですね、ちょうど北条バイパスのキャンプ場のあるところだと思えるんですけども、あそこの道の駅がすごく古くなっておりまして、今リニューアルをされてます。で、そこを防災道の駅にしてはどうかっていうような、動きもあるようでして、県内の防災道の駅が2箇所も3箇所もあるのかどうかという議論になりますけども、1つは何かそういう道の駅っていうのもいいなど、全国的に取り組まれています。まあ道の駅に限らずですね、大山町、あるいは淀江地区のためにですね、発展に貢献するようなアイデアをですね、まずはちょっと幅広に考えていただく方がよろしいかなという風に思っています。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。私も委員なので何か言いたくなってしまうんですけど、何となく妙な立場なので、私の話に行かせていただく前に事務局の方で、皆さんから色々出たお話について何か、答えていただくなりコメントしていただくことはありますか。</p>
<p>事務局（進行役）</p>	<p>はい。お答えさせていただきます。先ほど、E委員の方からありましたように、行政がやるべきか民間がやるべきか、というお話があったかと思えます。それにつきましては、まだ完全にゼロベースでございます。I委員もおっしゃったように、一番いいものであれば民間活用も当然考えられますし、それが不可能であれば最悪行政がやらなければならない部分も出てくるかと思えます。今回は皆様の多様なご意見を伺って、次に進めていきたいというのが主旨でございますので、そういった主旨でたくさんのご意見を頂けたらと思っております。また、次回も考えておりますので、こちらの方には専門のウエスコさんという方がいらっしゃってたくさん情報提供していただきますので、これからももう一回ぐらい意見を頂いてたくさん宿題とかですね、こんな資料集めておいてほしいとかですね、こういうことはできるのかどうかというのを中心にもう一回ぐらいご議論いただけたら助かるなど今思っている次第でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>一巡でご意見いただきましたけども、他の方の、そのご意見とか質問なり、何なりということやりとりが必要でありましたら、これからそういう時間としたいと思いますけれども、何か、他の方のお話をお聞きになって、自分としてはこういうことを加えて言いたいというのはございますか・・・。</p> <p>すみませんちょっと。私、この1月から大山町に来ましたんですが、淀江インター通り過ぎると何か、インターあるけれどもあの辺り何もなくて、何か土砂が積んであるなという風に思っていました。町長の方があそこは何か使えんかなというような話をしておられて、それで、山陰道に沿ってあるというところからまず考え付くのが道の駅かなということで、走ってみれば名和インター降りたら恵みの里さんもあるんですけども、正直言って如何せんやっぱり最初に</p>

バンと大きなの作れば良かったのになという感じが今しますけども、せまくてコロナの間は密を心配しないといけないような施設だったかな、もっとスペースあったらもっと色んな並べて面白いことができたかなと思ったり、名和インター降りたところではそう思いまして。じゃあその近所に他に道の駅はというと、琴浦あたりまでドーンとなく、一度降り走ると安来の9号線降りちゃうという感じ、何もない。まあ米子市に、市内に入っちゃえばいいのかなというのもあります、でも山陰道走ってる人は必ずしも米子市内に行きたいわけではないとしたときにやっぱあの辺り、何かあってもいいよなという風に思いました。あまりこの話に関わっていない段階で。それから売り場、名和インター降りたところの売り場面積が、ということ話をしておりましたら、今度御来屋の漁港の拠点という話になって、物販はあそこで、というと当然海産物中心という展開になるわけですが、じゃあそうすると名和インターの方の恵みの里は、じゃあ今海産物って特に扱っているわけではないけれども、その他どんな展開が淀江インターであり得るのか、というのは1つ考えるところかなという風に思ったことと、それからあの、サイクリングのお話がありまして、御来屋の港から繋げて行って妻木晩田の辺りを走って、大山寺まで走りあがると大変なんですけども、そこに行かないまでも佐摩の辺りぐらいから横に農免道路走っていくとかいうルートで、大山町の中で7、80キロのサイクリングロードって割と景色のいい所ができますんで、そういったところで、車で来た人が車止めて自転車に乗ってという拠点として1つありなのかなというようなのも考えたりしておりましたし、それから、あれだけスペースあれば道の駅駐車場だけ、トイレとかだけで終わらないで、民間の商業施設が出てくるということも大いにありで、そういうようなコンパウンドというかものできてきたときに、土地はどのようにお借りしてというか頂戴してというか、あるいはものを建てる時ってどのような補助金をどういう理屈で作っていったらいいのかなというのが、色んなパズルが頭の中をよぎるわけではありますけれども、そのあたりのところは色々これから検討していく中で模索していきたいという風に思っています。それからあと、ご指摘があったように、あの辺はあまり人が、という地元感覚だとそうなのかなというのもあるんですけども、妻木晩田への人の誘導であるとか、さらにそこから先に大山寺まで上がるのにそこから行くのがいいのかなどうかよく分かりませんが、あのルートはあのルートでなかなか魅力的かなとも思ったりもしますので、色々な工夫の仕方があるのかなという風に考えております。色んな事を言って、てんこ盛りのアイデアでもいいのかなという風に思います。でも色んなてんこ盛りのアイデア、出していくのはいいけどこういう点が問題になるんじゃないかというような疑問ですね、気になる点などありましたらご指摘をいただければ、ありがたいかなと思います、いかがでしょうか。

委員

いいですか。

会長	はい。
委員	皆でアイデア出そうってなあって、全然アイデア出せる雰囲気じゃないというか、そもそもこの進め方自体が僕どうなんだろうなと思ってます、正直。この一人ずつ当てられて何かこう、感想言わないといけないみたいな。ここで出たアイデアをどうされる予定なんですか。全然わからないですね。ここで出たアイデアをどっかの会社の方がまとめていただいて、何かあれされるんですか。
会長	事務局よろしいですか。
委員	これは何かあの、アリバイ作りの何かなのか。どういう。
事務局（進行役）	はい。今後のスケジュールのことにも関わってくると思いますが、アイデアを出していただいて、どういう活用したらいいのか活用しなくてもいいのか、というような提言をさせていただく予定になります。この実際アイデアにつきまして、事業の効果があるのかどうか、事業の実現性があるのかどうかというのは、また次の段階での考えに、調査になるかと思えます。今回の委員会につきましては、活用策について、最悪夢物語、皆さんプロの方であるかと思えますが、夢物語を語っていただいても結構だと思います。それについて、活用の計画を町長なり鳥取県知事さんに提言をした上で、次の段階に、ほんとにそれが実現できるものかどうかということにつきまして、次の段階で協議をされていくことを考えております。今回は、色々なご意見を頂ければなと思っております。
委員	今回は、と言われてましたが、それは今日はという意味ですか。この3回の部分で、っていう意味ですか。
事務局（進行役）	はい。3回で、という意味でありまして、おそらくこの土地ものすごい広い土地でして、残土もすごくあります。で、残土をまず取ること自体に2、3年かかったりするような土地ですので、そもそも、すぐすぐ活用できるような土地ではないですが、将来的に長期スパンにあたってどのような活用ができるかっていうのを考える議会です。ですので、まずはジャストアイデアで結構ですので、どんどんアイデアを出して行ってそれがほんとに実現できるかどうかっていうのは、次年度以降しっかりと練っていきながらじゃないと、簡単に動かせるような場所ではないと考えておりますので、まずは色々な活用できるかどうかも含めて、色々な意見を伺いたいと考えております。
委員	分かりました。要するに、どういう風に使いたいかということだけ言えばいいんですね。ということですね。

事務局（進行役）	はい、その通りでございます。色んな使い方ができるんじゃないかと、事務局としては考えております。
委員	はい、分かりました。
会長	その他ご不明な点がございますか。
委員	そのアイデアっていうのが、行政さんがこういう課題を抱えております、アウトドアもっと振興させたいです、そのためにやるのか、それとも僕らが、こんなんやったら面白いんじゃないですかっていうレベルでもいいってことなんですよね。
事務局（進行役）	面白いアイデアがございましたら、どんどん出していただいて、提言に加えられるものであれば皆さんの共通の企画として加えていきたいと考えております。
委員	<p>僕は何か、僕もちょっと聞かれたらどんなこと答えるかなと思ったんですけど。道の駅というか、道の駅目当てで皆さん行くんですかねっていうのがちょっと分からないんですけど。どっかその町に行った時に、道の駅があれば行って人めちやくちや多いと思うんですけど、あの道の駅に行こうっていう目的地になっているのかって言われると、僕はそこまで道の駅ってそこまで強くないかなって思ってます。でもただ道の駅的な何か物販とかたまに飲食できるところっていうのは、ある一定のお客さん来ますし、そこがもし目的地になるようなところになれば、何かそこに来た人たちが大山に行くみたいな。別にそんなルートまで設計する必要はないと思うんですけど、ある程度集客力のある施設を作っちゃえば、おのずと観光にも繋がっていくんじゃないかなと思ってます。そこで言った時に、僕のこれは一意見ですけども、牛の駅とかどうかかと。大山ってやっぱりその和牛というのがありますし、和牛日本一。でも牛食べれるとこってあんまないですよ。だからめちやくちや高級、何ですかね、ステーキハンバーガー焼肉、とか鳥取和牛をめっちゃ美味しく食べれるものが1つ、肉の、肉ゾーン。もう1つやっぱあと、牛乳すね。牛乳の、酪農の方の牛っていうのは、じゃこれ乳製品かなみたいな。例えばスイーツとか牛乳を使ったスイーツとか。何かほんとにもう牛尽くしな、牛の駅っていう名前かどうかは分かりませんが、何かそれぐらいちょっとその野菜とかももちろんあると思うんですけども、やっぱこの牛っていう。肉って結構強いと思うんですよ。何か、肉行こ、みたいなって結構あるんです。やっぱそういう意味では、何かその肉押しなやつ、何か肉のテーマパークや肉、そこはもう何か別に行政がやらなくても民間で募ればいっぱい入ってくるんじゃないかなと思ってて、で空いた土地はバーベキューでもすればいいかなみたいな。例えば1つちょっとコンセプトにこだわってやっていくのが僕はこのアイデアとしてはす</p>

	<p>ごくいいんじゃないかなと思うけど、何か色んな意見聞いてそれを全部吸収して全部クリアするのはもうやろうってなるとなかなか丸いものが出来上がる、とんがったものが出来上がらんっていう感じしますんで、何かそういうところを実際に、例えばですけどね、ほんまはもっとより専門性を持った人たちが集まって、省とか。採算ベースに乗るかってどうかっていうのも結構重要だと思うんですよ。サイクリングだとか、自転車停めてジュース買って終わりっていうとこやったら多分何億もかけて作ってもっていう気もしなくもないので、やっぱりそこ、単独でもお客さんが、下手したら大阪ぐらい、大阪九州ぐらいから集められるような場所を目指す方が何か夢があるかなと、いう風に思っております。僕からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>とんがったコンセプトでというアイデアいただきましたが、その他……。あの、日本遺産大山の牛馬市というのが、現代の牛馬市とね、何らかの形で、実現したいなという話もあってもいいかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>歴史にも紐づきますし、実際の産業に紐づきますし、世の中のニーズみたいなところも割と合うのかな、っていう気は全然、牛、肉、あるかなと思いますね。</p>
<p>会長</p>	<p>ランボルギーニで牛食べに来てもらうとかあるんですかね。 で、その他、まだ時間充分ございますので。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、スポーツ公園っていうような話をさせていただいたんですけども、新しいスポーツの形をここで作れないかなと。例えばですね、スケボーの基地であるとか、あるいはその、MTBのあの、私らがようできんような、山の中から滑って落ちるスケボーの一種みたいな自転車乗って降りるような基地であるとか、そういった基地を1つ作るのも1つでしょうし、まああの手前味噌ですけど近くに大山よりも低い孝霊山という山があるんですけど、そこ今皆さんも近くの方は皆さんご存じなだけども、昔NTTが立っていた電波塔がありますよね。あそこNTTが電波塔を取ってしまっただけで空き地になって確か大山町に買ってくれていったような話があったような話を聞いたんですけども、あそこちょうど長田のそこから管理道がありまして、その舗装された道路が山頂まで続いているんですね、大平山っていう山なんですけど。そのところからは非常に展望がいい。日本海は十分、中海まで見えて、天気がいい日には隠岐の島も展望できるっていうようなところで、自転車で行くにはちょうどいいぐらいの場所なのか、ちょっと体力的に電動のMTBじゃないとちょっと無理かもし</p>

<p>会長</p>	<p>れない、というようなどころがありまして。この間MTBの電動のやつの催しがあったときにちょっと乗って見たんですけども、これだったらちょうどその電波塔の跡地ぐらいにはちょうどいいなと思って、感じたようなどころです。1つそういったような施設も、可能性としてはあるのかなという思いもします。以上でございます。</p> <p>いかがですか。</p> <p>あとはまだ、まだまだとがっていると思われるであろう、水素ステーションの話、ありましたけども。鳥取県内で、水素化ってどれくらい取り組んでるんですか。まあ県内で考えてもなんですけども。</p> <p>あとは、あの地域というかエリア的には皆さんどういふ動きというか、どのようなことが期待されそうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>僕ちょっと皆さんの聞いてたんですけど。アウトドアライズとか、って言うてもアウトドアの一番の出ってどう考えても大山だと思うんですよ。大山の活用以外にアウトドアってなんか、その活用部分を進めていくことがまず大山のアウトドアであり、一番集客できる場所が大山かと。ただ大山のアウトドアを進める上で、何か足りないものがあるって、こういうものができたら大山のアウトドアが充実させられるものだと思うものがあるとしたら何か、どんなものかな。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。普段からピックアップしてほしいという要望は結構あるんですよ。要はダウンヒルしてて、ただダウンヒルし終わった後、電動だったらいいんですけど、電動じゃなかったりすると、もう疲れ切ってて返しに行けないみたいな人が多くて、そういう時はうちは有料でピックアップの場所とかを予め決めといてそこまで専用車両で行ったりするので、もしかしたらそのEV機が給電できてまた買えばっていう人、あるいはそこでちょっと待ち合わせができて、待ってる間はお買い物しててよ、みたいなどころで休憩とかができれば、少しはニーズがあるのかなという風にも思います。その大山町の中で今、E委員のところもそうですし、商工会さんとか我々なんかも頑張って自転車の普及というのはさしてはもらってるんですが、なかなかその色々なところを回る人たちの中でもやっぱりレベル感とか、相当ニーズが多様性を含んでいるので、中にはちょっと乗ってみたいだけの人、すごくライトな層と、あるいはもうかなり高級車を持っていらっしゃるって、もう自分でぐいぐい行っちゃうような人たちと、かなりのそのバラつきがあるので、おそらくそのぐいぐい行っちゃう人は車両も大きいと思いますし、ある程度お金も持ってらっしゃると思うので、そういう人たちのちょっとラグジュアリーなところもケアしつつ、そうかといってライトな層も取りこぼしたくないというところなので、ピックアップするだけでもいいよみたいなどころを、こういったちょっと大きな駐車場とか、目印になるようなどころとして利用ができれば、ちょっと活用の方法はあ</p>

	<p>るのかなと思います。なかなか山陰道の近くって、普通に車止めれて長時間居れてトイレとかお茶、休憩ができるところって実はないんですよ。そういうところで使い道はあるのかなとは思いますが。</p>
委員	<p>もう一回いいですか。大山って国立公園だから、できることできないことあると思うんです。でも、あそこ国立公園ではないんですよ。逆に何かあるんですか。大山の国立公園はキャンピングカーを止められるようなそういうものは作れないけど、とかって、そういうのってあるんですか。</p>
委員	<p>その辺は多分大山町さんが一番詳しいとは思いますが、基本的にはキャンプは専用の野営場って言ったらあれですけど、キャンプサイトのところにしていただかないと、どうしてもペグ打ったりとか色々勝手に工作物とかを置かれては、国立公園の中は困りますので、そういうところはちょっと難しいかなと思います。</p>
委員	<p>すみません。国立公園ではできないけども、ここだったらできるかも、みたいな。他に大山の上でやりたかったけど、ちょっと国立公園とか色んな法律に引っかかっちゃったり自然法とか、難しかったけどここならできるとか何か。今まで何かないですかね、これだけ長く観光に取り組みされた観光課で何かそういう。いいアイデアなんだけどできなかったな、みたいなことって。</p>
事務局	<p>はい。残念ながら今年からなので、ちょっと課題何て言うのはあれなんですけども、例えば山なんて言いながら、国立公園の中では採取ができないので、思ったより山の幸を味わうことはなかなか難しいかなというのはちょっと正直言って思ったりしているところですし、見ることはできても取ることはできないということもありますので、そういう方とかは里山の方がいいのかなっていう風に思ったりもするところもあります。あとE委員のおっしゃるようにコンセプトでとがったもの、やっぱり予想と違うもので大山町らしさっていうのができればいいのかなというのは正直言って思っておりまして、そこが半分終着であって半分拠点であって、広がっていくという場所もいいのかなと思うんですけども、先ほどからありますけども、新エネルギーだとか脱酸素っていうのも色濃く出しながら、そういった一方ではそういうコンセプトでカチッと来るようなそういうので、そこに目指して来ていただけるようになっていう性格もある施設ができればなという風には思うところです。ちょっと話が今脱線しちゃいましたけども。課題側としては国立公園の中だからできないというのは、そこだからこういうことしたいけども、設置が難しいものっていうのは色々あるところはありまして、それぞれの土地でこういうことしたいっていうのは、それぞれ出てくるんだろうとは思いますが。すみません、答えになりませんが。</p>
会長	<p>一口で商業施設も出てきたらとか言っちゃいましたけど、どういう領域という</p>

	<p>かどういいう業種だと魅力的な場所だという風に捉えてもらえるのか、それともあそこだったらどういいう業種が皆さんに魅力的だと思われるのかという。これなかなか難しいこと言いますけど、何かございますか。スーパーが出てきてもしょうがないし・・・。インターとは言え依然として無料区間なので、皆さんいくらでも乗ったり降りたりできるところなので、非常に圏域は広がる場所で集客できる。はい。</p>
<p>委員</p>	<p>副町長が言われたように、ちょっととんがったもので、かつさっきスーパーではちょっとねという話もありましたし、E委員がおっしゃったように、ないものを考えた方がいいのかなと思うんですよ。今あるものは周辺にもう充分サービス業的にあるわけで、そこを押してまでっていうところではないと思いますし、淀江の辺りって丸合があったりとかコンビニがあったりというところしか実際はなくて、小売店って旧道の辺りに数件残ってるぐらいなんですよ。そういう意味では歩いて行ける範囲は実は1件しか商業的なスーパーってないので、大山町内の方に足を向けるのか、日吉津の方のイオンの方に足を向けるのか、最近できた佐陀という辺りにあるスーパーに向けるのかという形で、大型施設としては結構最近出てきたんですが、小売店としては非常にアクセスが悪いところです。ただ、周辺の住民の方ですとか、一般の方を相手にではなくて、よりちょっとでも稼いでいく方向で考えるのであれば、とがったもので今ないもので、ただしニーズが高いものにやっぱり絞っていく方がいいのかなという風には、観光目線で考えるとそうなります。特に言われたように、牛、黒牛もそんなにそんなにどこでも食べれるものでもないですし、逆に買おうとしても全然手に入らないので、そういうのがあそこに行けばいつでも豊富にあるよねっていう方が、行く目的にはなるのかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>J委員。J委員的に何か・・・。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さん色々ご意見伺っていて、勉強になったと思うんですけど、やっぱりどうしても道の駅みたいなことを思い浮かべるんですけど、やはり県の方がおっしゃられたようにやっぱりいっぱいありますし、その点から考えると確かにE委員の言うのがったものっていうのは、牛の駅というのはなかなかいいアイデアだとは思いますが、それでとがったものであれば、そこにも行って、また他の所にも、史跡旧跡であるとか、温泉に入っただけということ、いいと思いますね。やはり何かそういうのがったもの、牛の駅っていうのはいいと思いました。ちょっと残飯ですけど。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。 牛じゃないけど石馬の何か、近くにいたような気がしますね。 色々まとめていただくお立場から、この辺もうちょっと聞いておきたいというものはございますか。</p>

事務局補助	<p>今現段階では皆様がどういうご意見をお持ちかというところ、でございまして、それを聞いて次回の委員会にはこういうことがありますという、まずご提供させていただいて、その中でどういうことが望まれているかで、次の段階から色んなアイデアを求められれば提示したいというところでございまして、今日は特に意見はないでございます。</p>
会長	<p>今日ご欠席の方が多いんですけども、ご欠席だった方のご意見なりはどのような形で、しますかね。何かアイデアありますか。</p>
事務局（進行役）	<p>はい。今日ご欠席の方ですが、今日の会議のようにジャストアイデアを求めるような会議ですので、アンケートというか、色々な文章的なもので、どんなことが活用ができるのかとか、そういうことを問い合せて、返信していただくというものは、可能かと思っております。</p>
会長	<p>分かりました。 はい、どうぞ。</p>
委員	<p>以前に大山のツーリズムの関係で、山の上から自転車に乗って皆生まで下りてきてカヌーイングして帰るというようなこと、以前に聞いたこと、自分でやったことはないもんだからあまりよく分からないんですけど、それは今でもやれるんですかね。</p>
委員	<p>それはイベント的な分ですかね。それともツアーとしてのことで聞かれたものですかね。色々何個かありまして。</p>
委員	<p>私が言ってるのは、要するに個人で行って、それが使えるのかっていうことです。単発で、例えば今日私がたまたま大山に来ましたよ、大山でレンタルサイクル借りました、下に下りたらレンタルのカヌーがあってそれができますよというようなやり方の遊び方ができるのかなと。</p>
委員	<p>そうですね。今もできますし、自転車なんかは私どもとか、他の施設さんいくつか今借りれるところがありまして、マウンテンバイクもそうですし何種類か今タイプがあります。あとカヌーのところは、以前はレークホテルさんの横のところでしたんですけど、今ちょっとなかなかその自治会の方とお話が難しいということもあって、皆生温泉のカヤックの皆さんというのにお繋ぎをして、自転車が終わったらそっちに、カヌーに乗り換えてっていうようなのは、数は少ないですけど、お問い合わせいただいたら対応してます。</p>
委員	<p>ちょっと海流の関係でどうなのかなというのは私も思うんですけど、元は漁師</p>

	<p>と言いながらあまり海の方出たことがないものですから。なんですけど、淀江の海岸っていうのは割と消波ブロックの内側は初心者用のカヌーには非常に向いてると思うんですよね。特にひらた海岸の消波ブロックの間は全然波がなくて小学校の子どもでも一人でカヌーして大丈夫かなって思うようなところもありますし。それからちょっと行けば、保田集落、今津集落っていうところは、それなりに波のないところはちゃぶちやぷとできますから、初心者がシーカヤックを操縦するにはいいのかな、というような思いはします。ほんの付け足しみたいな話で申し訳ないですけども。多分地域の住民さんは反対しないと思うんですけどね。</p>
委員	<p>そうですね。結構あの辺り、今おっしゃるように小学生の頃とか私なんかもよく一人でも遊んでましたし、波も穏やかですし、漁協の組合もすぐそばにありますので、その辺のお話がうまくいってれば、町中からでも海に降りる道がすごく近いので、利活用できる可能性が高いかなと思います。あと今この言われている用地からすごく近いので、ピックアップ用の車とか車両と駐車場さえあれば3分圏内だと思いますので、すごく可能性はあるんじゃないでしょうか。</p>
会長	<p>色々なアクティビティを繋ぐ拠点としても、好位置にあるというそういう評価ができるかっていうことですね。</p>
委員	<p>僕もスイスに行ったことがあって、そのツェルマットっていうんですが、そこはパラシュートとかパラグライダーとか、あらゆるスカイスポーツが、山から下りてきた人たちが、まあスネガの山から、そこで町中にドカーンて大きな広場があって、みんな空を飛んでるんですよ。だからその辺みんな空飛んでるなみたいな、パラシュートの人とか飛んだり、気球が出たりとか、何かそのまあ、せっかくだったら鳥取の魅力って、大山の魅力って多分高い建物なくて、空が広いからみたいなところもあるんで、その辺の、なんて言うんですかね。自転車とか今ある既存のアクティビティだと思うんですけど、もっと何かこう、売りになるような、新しい、何か高速道路の、山陰道の上をパラシュートで飛び越えられるって面白いと思うんですけど。さっきおっしゃってたみたいな、そういうの確かに有り。まあお金考えないでこんなこと言うのも、整備さえしちゃって、そういう特許か取っちゃってある程度やれば、他にはできないアクティビティ、あそこを使って、色々な発着点と言いますか、みたいなことも確かにできるのかなと思いました。</p>
会長	<p>パラグライダーとか、鳥取砂丘は色々ありますね。</p>
委員	<p>あれ面白くないですよ。砂丘からの砂丘って。風景変わらないじゃないですか。やっぱり大山町の魅力って山から海までの中に色々な景色があって、里が</p>

	<p>あり、で海が見えてきてっていう、その何かストーリーがすごい、山から海まで行くことで自然の移り変わりを楽しんだり四季の移り変わりを楽しんだりできると思うんですけど、そういうピンポイントでパラグライダーできるところって結構あるんですけど、それは空から砂丘を見てみたぐらいのレベルで、本当にダイナミックなコースとか描けるのは、大山町って結構やられると面白いかなと。僕らもドローンとか飛ばすんですけど、やっぱドローンとかでもちょっと飛ばすだけで風景が変わったりとか、そういうすごく面白いんですよ。だから東南アジアから来たりする。東南アジアの人って、まあ砂漠側の人って砂漠のどこ飛ばしてもずっとどこまでも砂漠みたいな。面白くないんですよ。だから川があったり海があったり緑があったり集落があったりっていう、そういう意味でコンパクトに色んな風景が楽しめるっていうのは1つ大山町の魅力かなと思うんで、そこを一気に通過して楽しめるような、何かそういうアクティビティとか、自転車以外にももっともっと開発していければ、オリジナルなコンテンツになるのかなと思ったりもしました。すいません何回も。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>あの。</p>
会長	<p>あ、どうぞ。</p>
委員	<p>すみません。今ですね、大山時間の方で、サイクリスト、NCR、ナショナルサイクルルート鳥取南ロードが開通、認定になるように、先ほど県の方もおっしゃってましたけども、すごく頑張って色々な取り組みをさせていただいて、このNCRが開通に至る見込みが大変高いような話を、この間お聞きしたところなんですけども、例えば2、3年先に開通になってきた時に、多くの県外のサイクリストの方も来られるんですけども、鳥取県でそういうサイクリストの拠点となるものをここに持ってこれたら、ちょうど場所的にもうみなみロードに掛かりますし、大山に滞在してもらって、大山に引っ張ってこれるといったところに繋げていってもらえたらなと思います。本当にE委員が言ったサイクルばかりではない、もっとこうなんですかね、楽しめるようなものを聞いてるとわくわくするんですけども、今本当にナショナルサイクルルートというのを頑張ってますんで、ぜひそういった拠点にさせていただきたいなど、話をしてて思いましたので、一言すみません。お願いします。</p>
委員	<p>具体的にどういうものが拠点になるんですか。先ほども色々あったけど、サイクリストの拠点っていうのは何があると拠点、どういう仮にどういう設備が必要なのか、って・・・もしそれこそサイクリストの拠点しようってなった時に、何がどういものが、何をもって拠点になるのか。</p>

委員	<p>例えば県外の方が車で来られて車を止めて、先ほども話も出てましたけども、飲食ですとか、滞在型っていうことになるけども宿泊も含めてなんですけど、そこでいっぺんに宿泊施設だとか、飲食できるスペースっていうわけでは、そこまでは思い当たらないところもあるんですけども、サイクリストの聖地的な、とんがった、というか逆にE委員はどんなものがあつたらサイクリストの拠点って言える・・・</p>
委員	<p>僕は分からなかったから聞いたんですけど。まあ滞在施設とか、ちょっと自転車置いたりメンテもできたりそういうサイクルポートのイメージですかね。</p>
会長	<p>拠点の中身についてはもうちょっと研究した方がいいですかね・・・</p>
委員	<p>アウトドアの拠点とかね、色々な言葉使われるんですけど、拠点って何？みたいなのはちょっと思うようなこともあつたりとか、もう少し具体的にみんながちゃんと1つの言葉のイメージじゃなくてバラバラだつたりすることが多い言葉が多いなっていうのはちょっと思って。確認で取らせていただきました。</p>
会長	<p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>私の方からサイクリストの拠点みたいな話をちょっとぼんやりとさせていたでいて。あまり具体的に言わなかったのは、あまりイメージを懲り固めてしまうんですね、議論が進まないかなと思ってすこしばやかしていたんですけども。具体的にちょっとイメージできるのがですね、イメージというか具体例でお示しできるのがですね、この近くで言うと、蒜山。岡山の真庭で蒜山って非常に今サイクリング、サイクルツーリズムが人気のところで、そこに昨年ですかね、道の駅を開設してですね、そこに宿泊特化型で食事や買い物は道の駅や地域の店舗使ってもらって、でサイクリストの拠点ということで、サイクリングやスノーボード、アクティビティの拠点としてオープンしたという施設がございまして。具体的なその備えているものっていうのはですね、マウンテンバイクとかスキーとかスノーボードなどを収納できるようなスポーツロッカーを配備しているとか、おそらくあのそういったものを収納してそこを拠点に色んなところを回ってもらいたいなことを想定しての施設、だということなので、そんなものをちょっと勉強してみるのはいいいのかなと思った次第です。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。色々各論も出てきたところですが、そろそろ次のスケジュールの話を説明していただいて、次回に備えたいと思いますが、意見いただくのはこれまででよろしいでしょうかね。あと、今日ご欠席した方からもいただいてまたまとめたもので次回やらせていただくとして、次回、その後どのようなスケジュールでどうなるかという説明をお願いします。</p>

事務局（進行役）	はい。色々ご意見いただきましてありがとうございます。次回につきましてですが、今回の結果を踏まえて、ご意見や課題、色々お聞かせいただきましたそれを整理いたしまして、色々な資料とともに次回でご提示させていただけたらと思っております。次回の日程につきましては、また別途ご連絡させていただきます。
会長	1月下旬という予定ですね。
事務局（進行役）	はい1月下旬に開催したいと考えておりますが、別途またご連絡させていただきます。
会長	まずスケジュールについて特に何かご質問ありませんでしょうか。ないようでしたら、その他でちょっとこれ、というようなことがありましたら・・・ございませんか。ございませんようですので、第1回の淀江IC周辺用地活用検討委員会、これにて、閉じたいと思います。事務局よろしいですね。
事務局（進行役）	はい。追加となっておりますが。なかなかこの場では発言しづらいことがあったと思います。それつきましては全然事務局の方にご連絡していただければ次回の会議の方に活かしていきたいと思っておりますので、今思いつかなかったことも多々あるかと思っておりますので、どんどんご連絡いただけたらと思います。
会長	ありがとうございました。お疲れ様でした。
事務局（進行役）	<p>7. 閉会</p> <p>では、以上を持ちまして本日の委員会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。雪が深くなっておりますので、お気を付けてお帰りいただけたらと・・・深くはないですね、大丈夫だと思いますので、お帰り下さい。</p>